

スクラッチ翻訳
から
レビュー翻訳へ

OmegaTを使ってできる
機械翻訳+レビュー翻訳

翻訳労力を最小限に

OmegaTを使うと

1. 同じ英文は2度翻訳しなくていい（翻訳メモリにある）
2. 辞書や用語集を登録でき、**翻訳メモリがたまる**
3. 表記ルールが変わっても困らない
4. プrezen資料も処理できる
5. 機械翻訳も利用できる
6. さらに

1. 同じ英文は2度翻訳しなくていい

すでに訳した類似の文との
差分も一目瞭然

The screenshot shows two side-by-side windows of the OmegaT 4.3.0 localization tool. Both windows have the title bar "OmegaT 4.3.0 :: Events" and the menu bar "プロジェクト(P) 編集(E) 移動(G) 表示(V) ツール(T) 設定(O) ヘルプ(H)".

Left Window (Original Source):

- Attend:** Hyperledger Member Summit takes place annually, bringing the Hyperledger community together to learn about the latest developments, share best practices and collaborate to drive rapid innovation across the industry.
- Hyperledger is an open source collaborative effort created to advance cross-industry blockchain technologies.**
- About:** It is a global collaboration, hosted by The Linux Foundation, including leaders in finance, banking, Internet of Things, supply chains, manufacturing and Technology.

Right Window (Comparison View):

- 参考訳文:** 1. Hyperledger Member Summit takes place annually and brings the Hyperledger community together to learn about the latest developments, share best practices and collaborate to drive rapid innovation across the industry. Hyperledger Member Summitは毎年開催されるカンファレンスです。Hyperledgerコミュニティが一堂に会し、最新の開発情報について学び、ベスト プラクティスを共有し、業界全体のイノベーションを促進するコラボレーションに取り組みます。
<100/93/95%>
- 参考訳文:** 2. The Automotive Grade Linux (AGL) All Member Meeting takes place bi-annually and brings the AGL community together to learn about the latest developments, share best practices and collaborate to drive rapid innovation across the industry. Automotive Grade Linux (AGL) All Member Meetingは半年に1度開催されます。AGLコミュニティが一堂に会し、最新の開発情報について学び、ベスト プラクティスを共有し、業界全体のイノベーションを促進するコラボレーションに取り組みます。
<71/69/73% 現在のプロジェクト（他1分節）>
- 参考訳文:** 3. The All Member Meeting allows the AGL community to learn about the latest developments, share best practices and collaborate to drive rapid innovation across the industry. このAll Member Meetingにより、AGLコミュニティは最新の開発情報について学び、ベスト プラクティスを共有し、連携して業界全体の高速イノベーションを推進することができます。
<65/68/78% C:\Users\mieko\Dropbox\LFJ\翻訳メモリ\Events\tm\All170703--omegap.tmx>
- 参考訳文:** 4. The Automotive Grade Linux (AGL) All Member Meeting takes place bi-annually and brings the AGL community together to learn about the latest developments, share best practices and collaborate to drive rapid innovation across the industry. このAll Member Meetingにより、AGLコミュニティは最新の開発情報について学び、ベスト プラクティスを共有し、連携して業界全体の高速イノベーションを推進することができます。
<65/68/78% C:\Users\mieko\Dropbox\LFJ\翻訳メモリ\Events\tm\All170703--omegap.tmx>

Both windows show the "機械翻訳" (Machine Translation) and "複数訳文" (Multiple Translations) tabs at the bottom. The status bar at the bottom right of the right window displays the message "カードリロード LMS 91/97/822/1485, 42121/215/129".

2. 辞書、用語集、そして翻訳メモリ

- ・辞書：登録できる – 当然
- ・用語集：既存のものを登録でき、作業中に隨時追加登録できる
- ・翻訳メモリ：**自動的に蓄積されて自動的に再利用できる**

カテゴリごとにプロジェクトを分けることで、
カテゴリ別の翻訳メモリ（対訳ファイル）ができる！

Hyperledger関連、CNCF関連、LFイベント関連、…etc.

3. 表記ルールが変わっても困らない

翻訳メモリ（参考訳文）の内容を隨時編集できる

たとえば、一部またはすべての翻訳メモリ内の用語を一括変換

- ・「オープン・ソース」 → 「オープンソース」
- ・「遵守」 → 「順守」

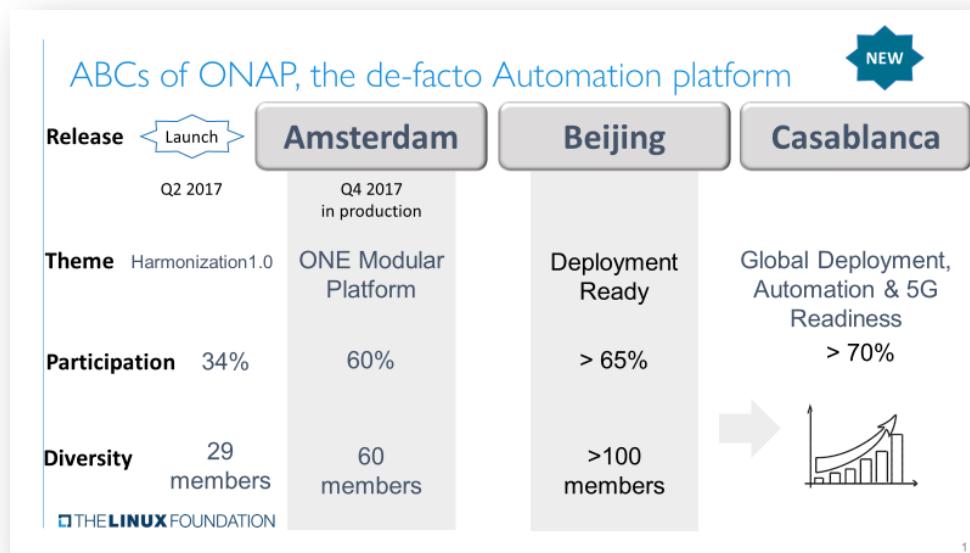
など

そのため、参考訳文も新しい表記ルールで更新される

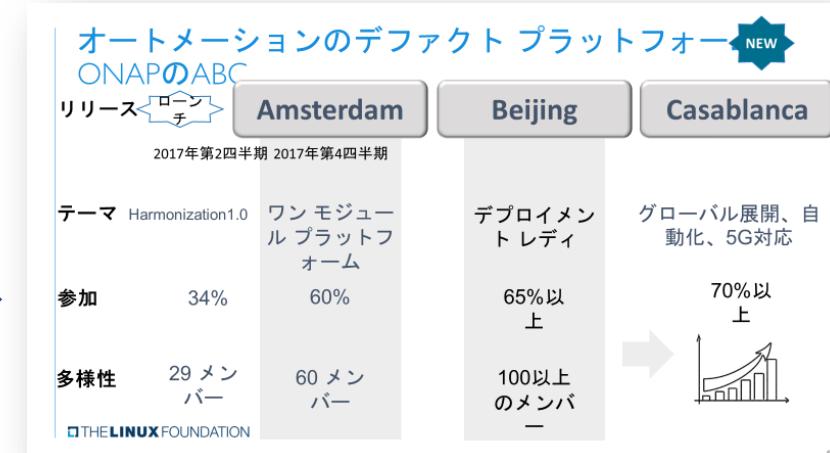
4. プrezen資料も処理できる

こんなパワポも

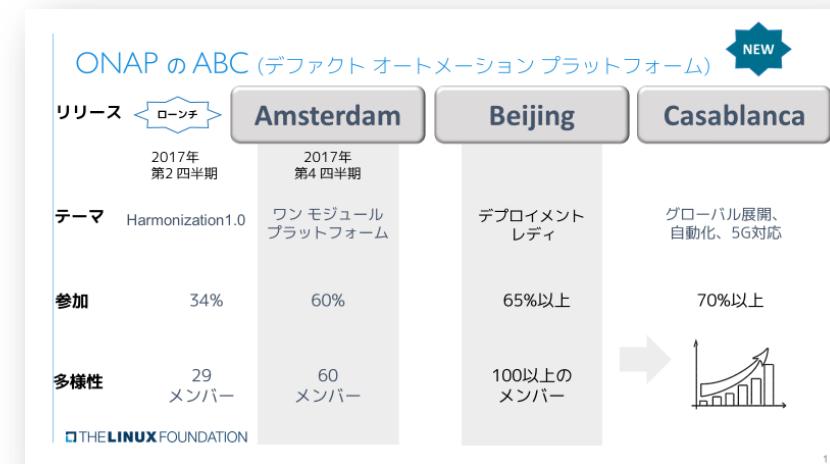
OmegaTで



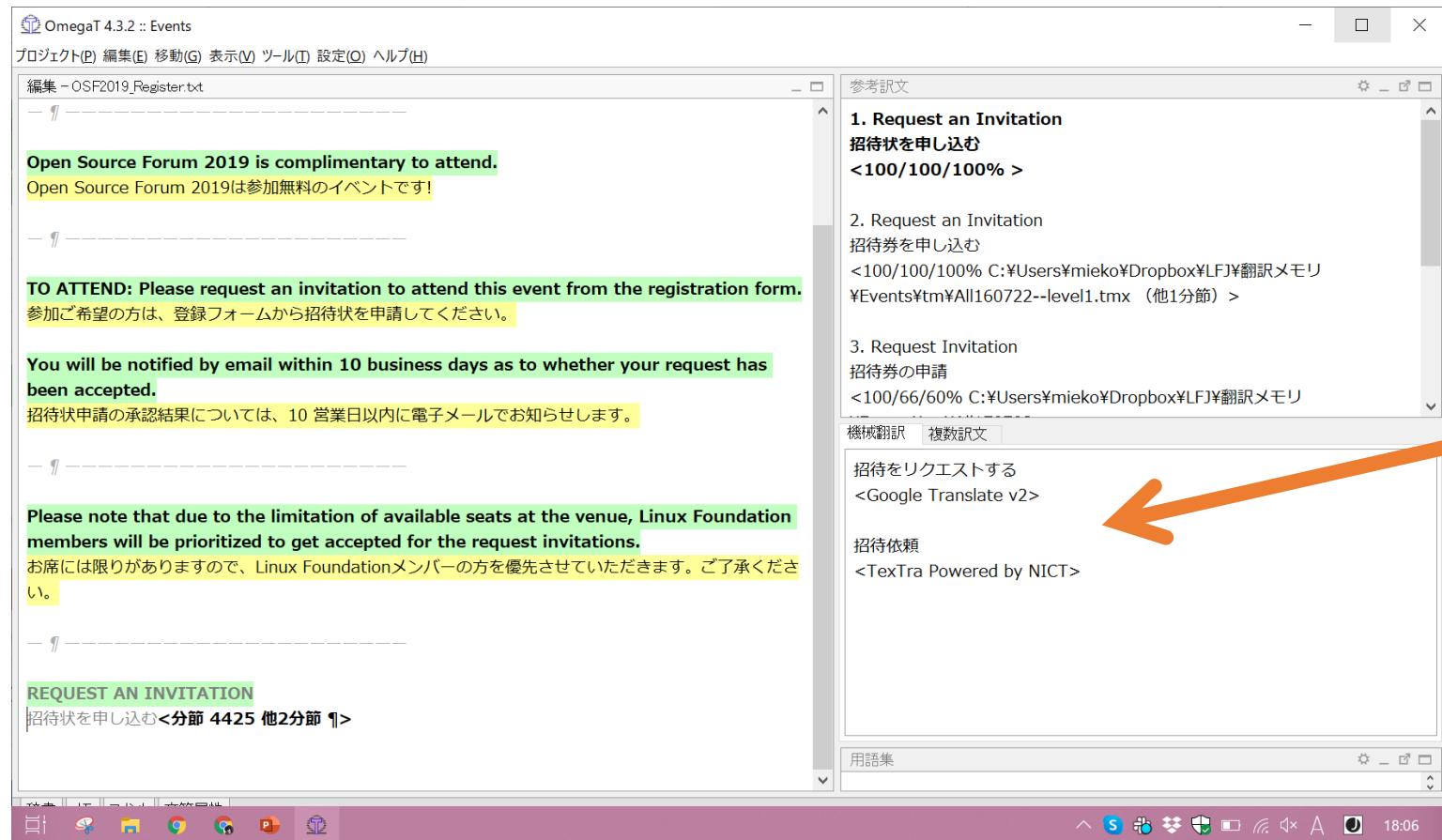
作成された訳文ファイル



↓ レイアウトなどをマニュアルで調整



5. そして、機械翻訳も利用できる



分節単位で
Google Translate APIや
みんなの自動翻訳@TexTra
による翻訳結果を表示

*分節単位であるため、
文章単位よりも正確な
機械翻訳結果が得られる

6. さらに

機械翻訳の使い方いろいろ

例1：すでにある訳文の訳抜けチェックに利用

例2：下訳は機械に任せ、自分はレビューに

例3：機械翻訳の結果を共有してみんなで同時レビュー

→ **Collaborative Translation Effort**
(by 谷口さん from NEC)

参考1：OmegaTの使い方（1）

OmegaT 日本語サイト：<https://omegat.org/ja/>

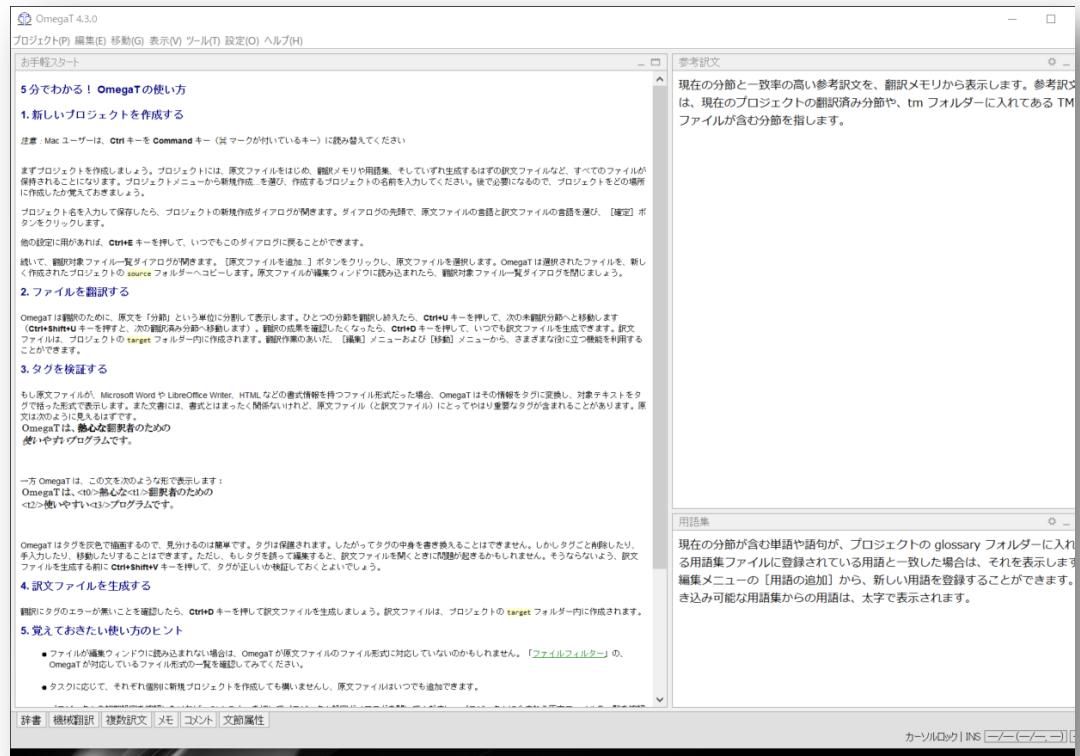
1. OmegaTを下記からダウンロードし、インストールする。

<https://omegat.org/ja/download> (英語)

取扱説明書：

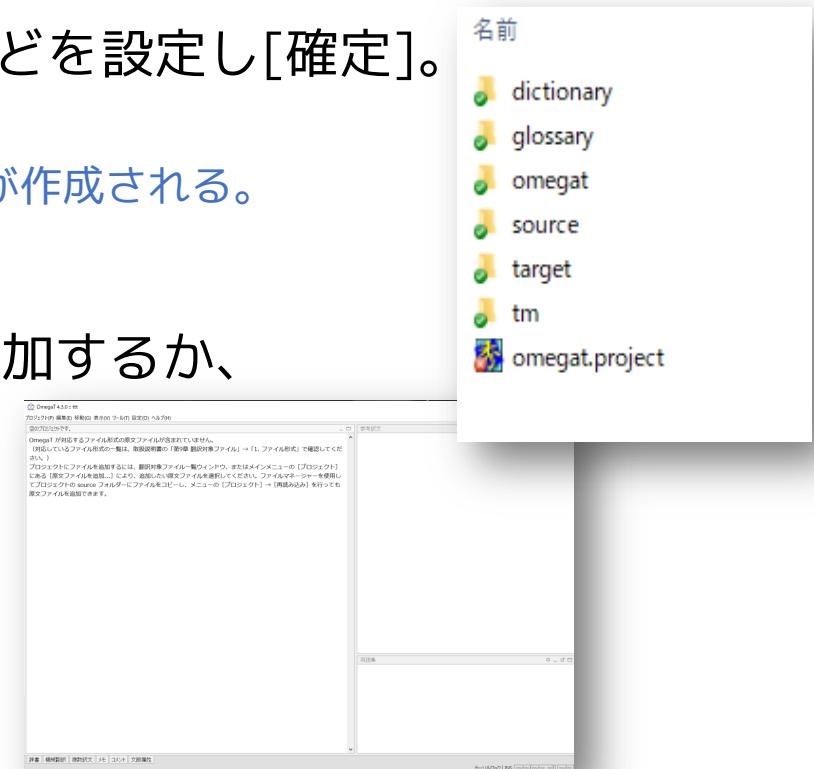
<https://omegat.sourceforge.io/manual-latest/ja/>
*ツールの [ヘルプ] メニューからも参照可能。

2. 起動する。



参考1：OmegaTの使い方 (2)

3. [プロジェクト]→[新規作成]→任意の場所にプロジェクト フォルダを作成し [保存]。
4. [プロジェクトの新規作成] 画面が表示される。
5. 原文と訳文の言語、分節化、各種ファイルの場所などを設定し[確定]。
ここでプロジェクトの構造が整う。プロジェクト フォルダには、
source、**target**、**tm**、**glossary**、**dictionary** などのフォルダが作成される。
この時点でOmegaTは「空のプロジェクトです。」と表示する。
6. [プロジェクト]→[原文ファイルを追加]で原文を追加するか、
ドラッグ&ドロップなどで**source** フォルダに
原文ファイルを入れる。*追加ファイル数の制限はない。
7. 翻訳メモリがあれば、**tm** フォルダに入れる
*tm フォルダ内の auto フォルダに入れた翻訳メモリは
最優先の参考訳として採用される。



参考1：OmegaTの使い方 (3)

8. 用語集は glossary に、辞書ファイルは dictionary フォルダに入れる（適宜）。
[設定]→[ファイルフィルター]でファイルのエンコードなどを適宜設定。
[設定]→[分節化規則]で英語の分節化規則*などを適宜編集し、[確定]。
9. [プロジェクト]→[再読み込み]→[翻訳対象ファイル一覧] から原文ファイルを選択。
10. 1文（分節）ごとに翻訳する（訳して enter を押すたびに分節単位の訳文が保存される）。
11. [プロジェクト]→[訳文ファイルを生成]。
target フォルダに訳文が入る。プロジェクトの翻訳作業で作成された3種類の翻訳メモリ (*.tmx)が、プロジェクト フォルダに生成される。
12. [保存]→[終了]。
同じプロジェクトで2度目以降作業する場合は、プロジェクトを開き、翻訳対象ファイルを選択し、10と11を繰り返す。

参考1：OmegaTの使い方 (4)

参考訳文(翻訳メモリ)の採用

- プロジェクト内に同じ原文の訳があれば、編集ウィンドウの訳文に自動的に反映されます(自動的に反映しない設定も可能)。
- 参考訳文ウィンドウには、翻訳メモリの中から一致率の高い分節が順に表示されます。

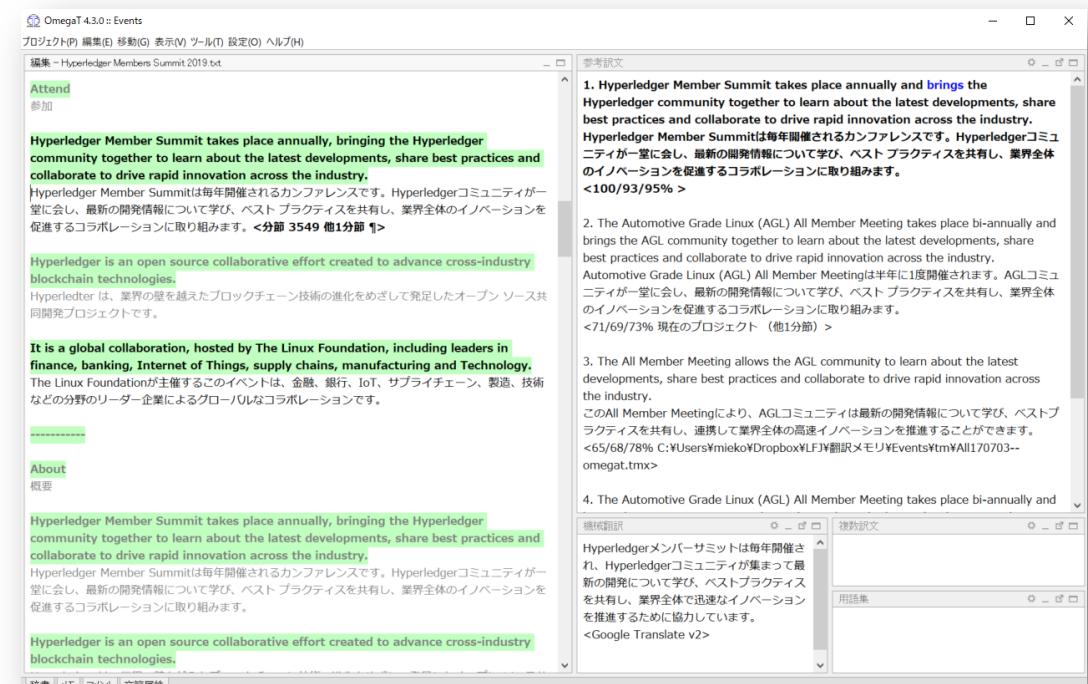
1つ目の参考訳文：[Ctrl+R]で採用。

2つ目以降の参考訳文：

[Ctrl+1]、[Ctrl+2]、[Ctrl+3]…

の後に[Ctrl+R]で採用。

([Ctrl+I]なら「挿入」)



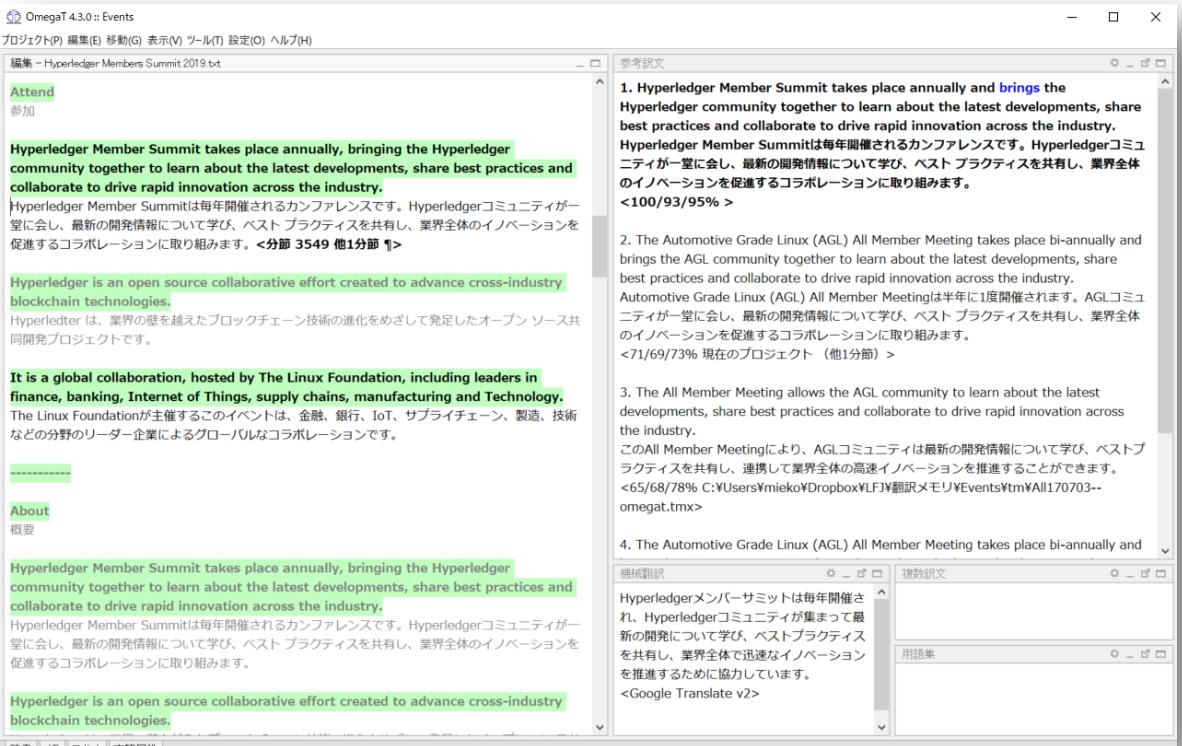
参考2：OmegaTと機械翻訳

機械翻訳文の採用

- 機械翻訳ウィンドウには、分節ごとの翻訳文が読み込まれ、表示されます。

[Ctrl+M]で採用、Enterで確定。

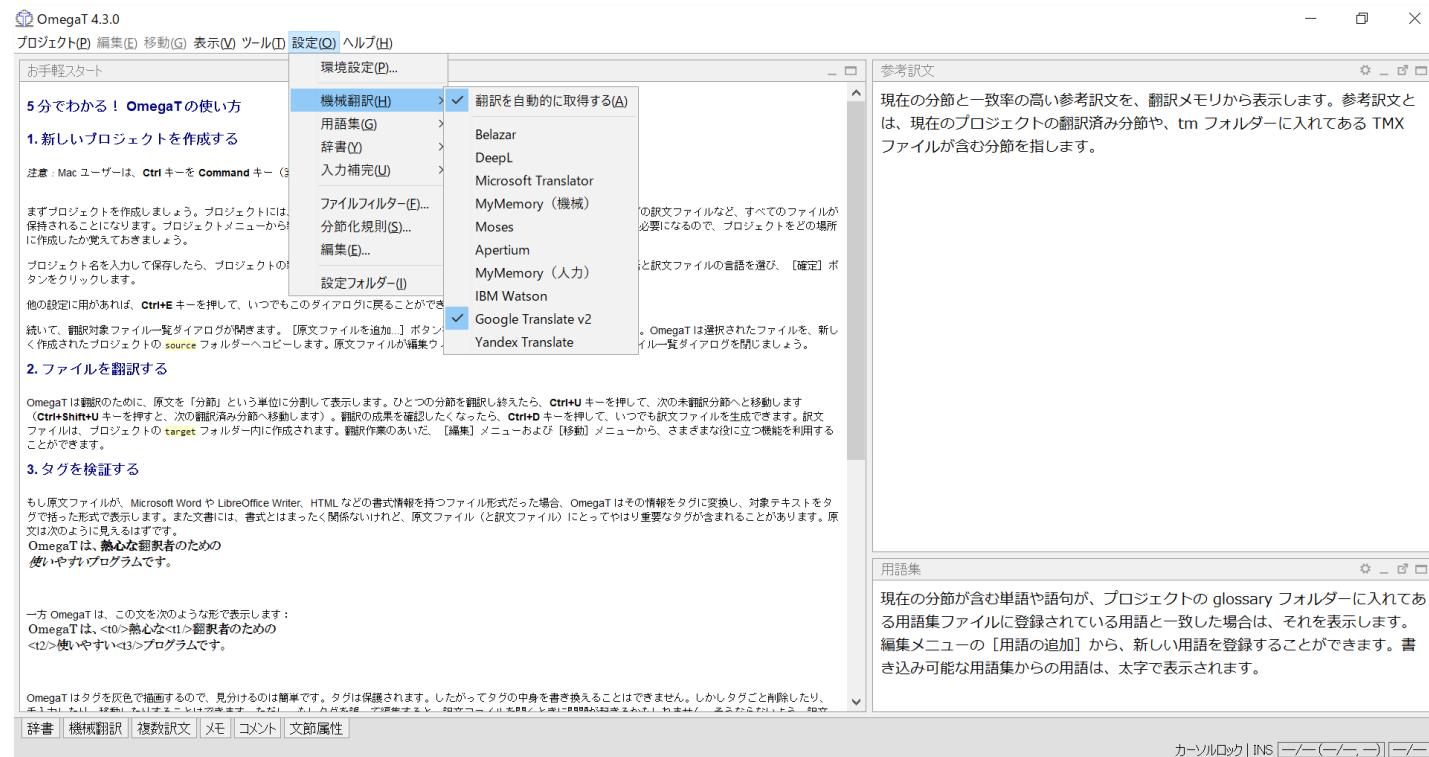
*マクロで機械翻訳を全採用することもできる。



参考3：OmegaTとGoogle Translate API

Howto - Using Google Translate in OmegaT

https://omegat.org/ja/howtos/google_translate



参考4-1：OmegaTとみんなの自動翻訳@TexTra

みんなの自動翻訳サイト：

<https://mt-auto-minhon-mlt.ucri.jgn-x.jp/content/menu/>

Mac OSの場合の設定例

1. OmegaTを起動する
2. [設定]->[編集]->[プラグイン]を選択
3. [ウェブで見る]をクリックすると
このページに移動する
<https://sourceforge.net/p/omegat/wiki/Plugins/>

参考4-2：OmegaTとみんなの自動翻訳@TexTra つづき

4. 以下のプラグインを選択する

[NICT TexTra Machine Translation](#): A connector for NICT TexTra Machine Translation

すると、こちらのページに移動する

<https://github.com/miurahr/omegat-textra-plugin>

5. [Releases]タブをクリックして

こちらからプラグインをダウンロードする

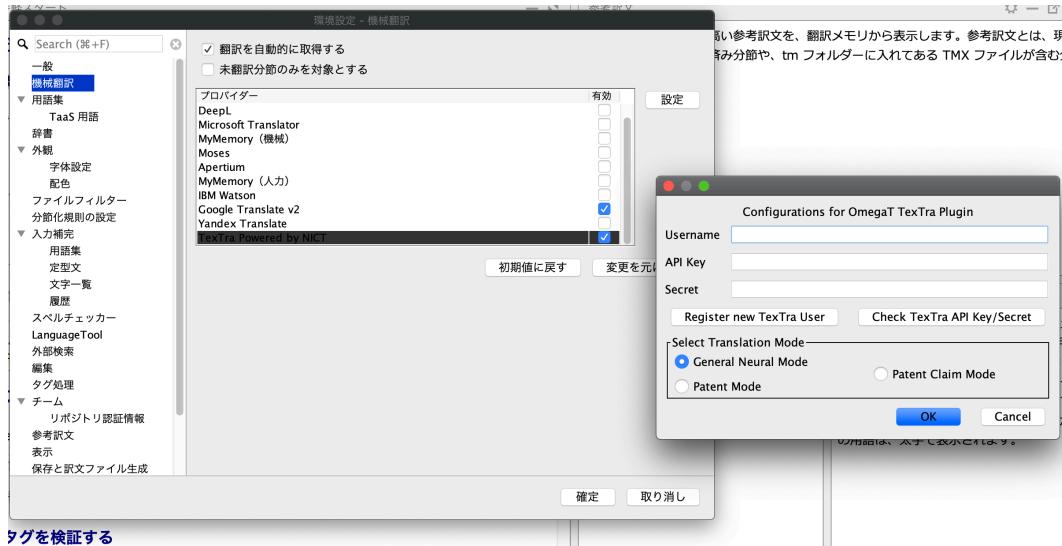
<https://github.com/miurahr/omegat-textra-plugin/releases>

参考4-3：OmegaTとみんなの自動翻訳@TexTra つづき

4. プラグインのZIPを解凍する
5. OmegaTを開く
6. [設定]->[設定フォルダー]を選択する
7. 解凍したプラグインのフォルダーにある、
omegat-textra-plugin-0.6.jar
をこの設定フォルダーに入れる

参考4-4：OmegaTとみんなの自動翻訳@TexTra つづき

8. [OmegaT]->[環境設定]->[機械翻訳]を選択
9. リストからTexTra powered by NICTを選択してチェックし、ハイライト表示させ、[設定]をクリック
10. 設定画面で [Check TexTra API key/Secret] をクリック



参考4-5：OmegaTとみんなの自動翻訳@TexTra つづき

11.NICTの画面に移動するので、
必要な情報を確認して
OmegaTの設定画面に入れ
[OK]をクリック



参考5：過去の訳文から翻訳メモリをつくる

原文と訳文があれば翻訳メモリを作成できる

Align Assistを使ってみよう！

原文と訳文を指定フォルダに入れると、
対訳表が表示されます。

必要に応じてそれを修正すれば、
翻訳メモリのできあがり。
(でも少し面倒かも……?)

	ソース原稿の文節	翻訳原稿の文節
1	China Unicom: How China Unicom Leveraged Kubernetes to Boost Efficiency and Lower IT Costs	China Unicom社: KubernetesによるITコスト削減と効率性向上をいかにして実現したか
2	Company China Unicom Location Beijing, China Industry Telecom	企業名 China Unicom 所在地 中国、北京 業界 テレコム
3	Challenge	課題
4	China Unicom is one of the top three telecom operators in China, and to serve its 300 million users, the company runs several data centers with thousands of servers in each, using Docker containerization and VMWare and OpenStack infrastructure since 2016.	China Unicomは、中国でトップ3の通信事業者の1つであり、その3億人のユーザーにサービスを提供するために、2016年以来VMWare、OpenStackのインフラやDockerによるコンテナ化を用いて数千のサーバーのデータセンターを複数運用しています。
	Unfortunately, "the resource utilization rate was relatively low," says Chengyu Zhang, Group Leader of Platform Technology	残念なことに、「リソース使用率は相対的に低かった」と、プラットフォーム技術のR&D部門のグループリーダーであるChengyu Zhangは語っています。

くわしくは：

<http://jp.felix-cat.com/tools/align-assist/>

どうも
ありがとうございます
ございました